

令和3年5月19日

## 暑い日のマスクについて

瀬戸市教育委員会

気温が高くなり、子どもたちの熱中症に配慮が必要な季節となりました。学校では数年前から学校に置いていってよい勉強用具を増やし、登下校時の負担を軽くするようにしています。

新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため、マスクの着用をお願いしていますが、夏場の登下校については、文部科学省より示されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）」を学校で共有し対応しています。

夏期の気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。このため、気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い時には、屋外で人と十分な距離を確保できる場合には、マスクを外すように指導します。小学生など、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しい年齢の子供へは、気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日に屋外でマスクを外すよう、積極的に声をかけるなどの指導を行います。その際、人と十分な距離を確保し、会話を控えることについても指導します。

P61 第3章 7. 登下校 より抜粋

この記載にもありますように、小学校低学年児童は、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しいこともあろうかと思えます。保護者の皆様からも、

「暑くなったらマスクをはずしていいからね。でもお友達とは離れて、おしゃべりはしないようにするんだよ」

と声をかけていただければと思います。



感染収束が待ち遠しい今日この頃ですが、今後も引き続き感染対策に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。